

あ す ひら
未来を拓く
ANNUAL REPORT 2026



檜垣正喜「植物考2023」

経営理念

この地域に根ざし、未来を拓く

みらい宣言

信用金庫だから、地域の人々の希望と信頼にお応えします。

信用金庫だから、チャレンジする起業家を応援します。

信用金庫だから、世界に学び、地域の明日を担います。

信用金庫だから、誇り高いいきいきした職場をつくります。

信用金庫だから、地域と共に生き続けます。

行動の指針

志は高く、行動は遅しく

感謝 私たちは、感謝とまごころをもって、謙虚にたくましく行動します。

奉仕 私たちは、明るく豊かな生活創造のパートナーになります。

挑戦 私たちは、仕事に誇りと目標を持ち、進んで経営に参画します。

人間 私たちは、よく遊びよく学び、心豊かな人間をめざします。



表紙絵：檜垣正喜「植物考2023」(194×194cm)

制作年：2023年

作家のご紹介

檜垣正喜氏は1948年、大分県別府市に生まれました。岩尾秀樹氏に師事し、1968年に第42回国展に初入選され、2025年に国画会会員に推挙されました。また、1974年から2008年まで別府大学に勤務された後、新潮流展、別府アートクラブ展等を結成し、グループ活動を行われています。そのほかにも、メキシコ、インドネシア、韓国、インド、ヨーロッパ諸国を取材し、個展も多数開催されています。

〈主な受賞歴〉

1968年：第42回国展入選 以後毎年出展

1972年：第46回国画会新人賞を受賞

1977年：第51回国画会新人賞を受賞

1979年：第53回国画会にて会友となる

1990年：第73回国画会にて準会員となる

2000年：第7回別府現代美術展大賞受賞

2001～2003年：ルーブル美術館にてサロンドナショナル展出品

2025年：第99回国画会にて会員となる

INDEX

●ごあいさつ	1	●役員・組織図	14～15
●みらいしんきんと地域社会	2	●業界の総合力の発揮	16～17
●みらいしんきんのビジョンについて	3	●地域づくり活動について	18～19
●経営基盤の充実について	4～5	●お客さま支援について	20
●地域密着型金融の推進について	6～9	●店舗・ATMネットワーク	21～22
●働き方改革への取り組みについて	10～11	●みらいしんきんの歴史	23
●総代会について	12～13		

ごあいさつ



会長 森田 展弘



理事長 古田 哲一

平素より大分みらい信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、当金庫は本年4月12日に創立104周年を迎えました。これもひとえに地域の皆さまの温かいご支援とご厚情の賜物であり、深く感謝申し上げます。

このたび、当金庫におきましては、前理事長の森田展弘が会長に、前専務理事の古田哲一が理事長に就任いたしましたので、ここに謹んでご報告申し上げます。

さて、2025年度の県内経済を振り返りますと、観光需要の高まりやインバウンドの恩恵を受け、景気は緩やかな回復基調で推移しました。県内を訪れる観光客数は近年増加傾向にあり、観光産業のさらなる成長が期待されています。一方、米国のトランプ関税や緊迫化する中東情勢などの海外の動向は、原油価格をはじめ物価や物流コストなどの上昇に拍車をかけ、私たちの暮らしや県内企業の生産活動に大きな影響を与えています。

このような環境の中、当金庫では2021年度より「10カ年長期事業計画」を推進しています。2024年度からはその第2ステージとして中期事業計画「第2次『シンカへの挑戦』3カ年計画」を展開しており、人口減少や少子高齢化社会の進行、金融政策の変更、DXの加速など、急速に変化する経営環境に対応するため、各種制度や仕組みなどの改革を進めています。

2025年度はこの3カ年計画の2年目として、「地域活性化支援とお客さま支援の強化」「営業基盤の拡充と業務改革の実行」「より働きがいのある職場の構築」「経営管理態勢と統合的なリスク管理態勢の強化」の4つの重点戦略について、スピード感をもってさまざまな施策に取り組みました。

これらの取り組みの結果、2025年度の当期純利益は5億8千3百万円、自己資本比率は12.78%となり、引き続き安心してお取引いただける財務基盤を確保しております。

新体制のもと、今後も健全経営に徹し、地域社会の発展に一層貢献できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年7月

会長 森田 展弘
理事長 古田 哲一

みらいしんきんと地域社会

地域貢献ディスクローチャー

信用金庫は相互扶助、非営利の協同組織金融機関であり、「中小企業の健全な発展」「豊かな国民生活の実現」「地域社会繁栄への奉仕」をビジョンとしています。

当金庫は、地域・お客さま・金庫役職員とのつながりを大切にし、共に成長できる基盤を構築することにより、地域の発展に貢献してまいります。

お客さま・会員の皆さま

預金・積金について

預金・積金残高のほとんどは、地域にお住まいの個人の方々や、法人のお取引先からお預かりした資金です。

預金・積金残高 439,737百万円
詳細:4ページ、資料編8ページ、41ページ

出資金について

信用金庫は「会員制度」を基本とした地域金融機関です。会員の皆さまからの出資金は、この地域の発展のお役に立つように運用しています。

会員数 42,797人
出資金残高 1,505百万円
詳細:5ページ

ご融資について

お客さま・会員の皆さまのさまざまな資金ニーズにお応えし、円滑な資金供給を行うことで、地域社会の繁栄に貢献しています。

貸出金残高 223,394百万円
詳細:4ページ、資料編8ページ、41ページ

地域づくり活動

金融業務を通じた経済的貢献だけでなく、地域に根ざした金融機関として「文化的・社会的責任」を果たすことが、信用金庫の大切な使命です。

詳細:18～19ページ

さまざまなネットワーク

みらいしんきん同友会等のさまざまなネットワークづくりに取り組んでいます。

詳細:9ページ

みらいしんきん

決算の状況

2025年度は、当期純利益583百万円となり、安定した業績を確保することができました。

詳細:4ページ、資料編3～6ページ

不良債権の状況

信用金庫法および金融再生法上の不良債権比率は6.17%となり、そのうち84.78%は担保・保証等および貸倒引当金により保全されています。

詳細:5ページ

自己資本の状況

健全性の指標である自己資本比率は、12.78%となりました。自己資本比率は国内基準4%の3倍以上の水準にあり、引き続き高い健全性を確保しています。

詳細:5ページ、資料編18ページ

ご融資以外の運用 (有価証券等)

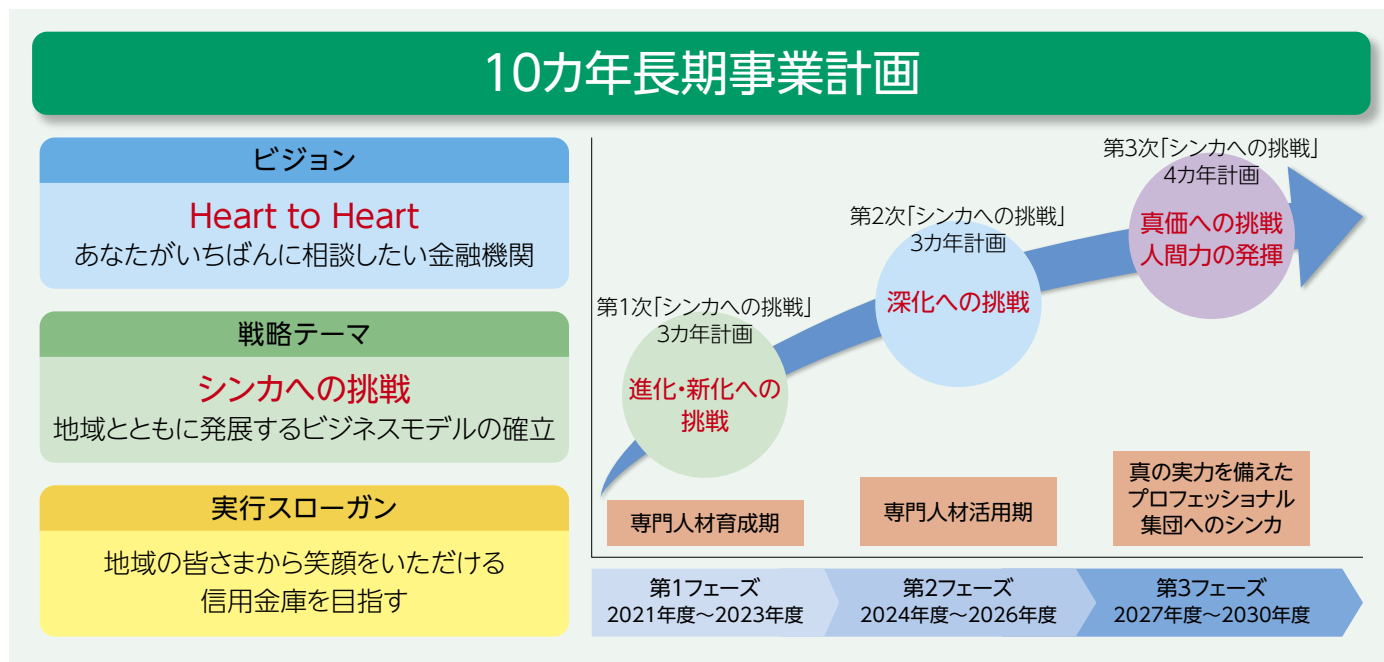
お客さまからお預かりしたご預金や出資金は、ご融資による運用の他に、国債や社債、投資信託などの有価証券への投資等による運用を行っています。

有価証券残高 133,576百万円
詳細:資料編9ページ

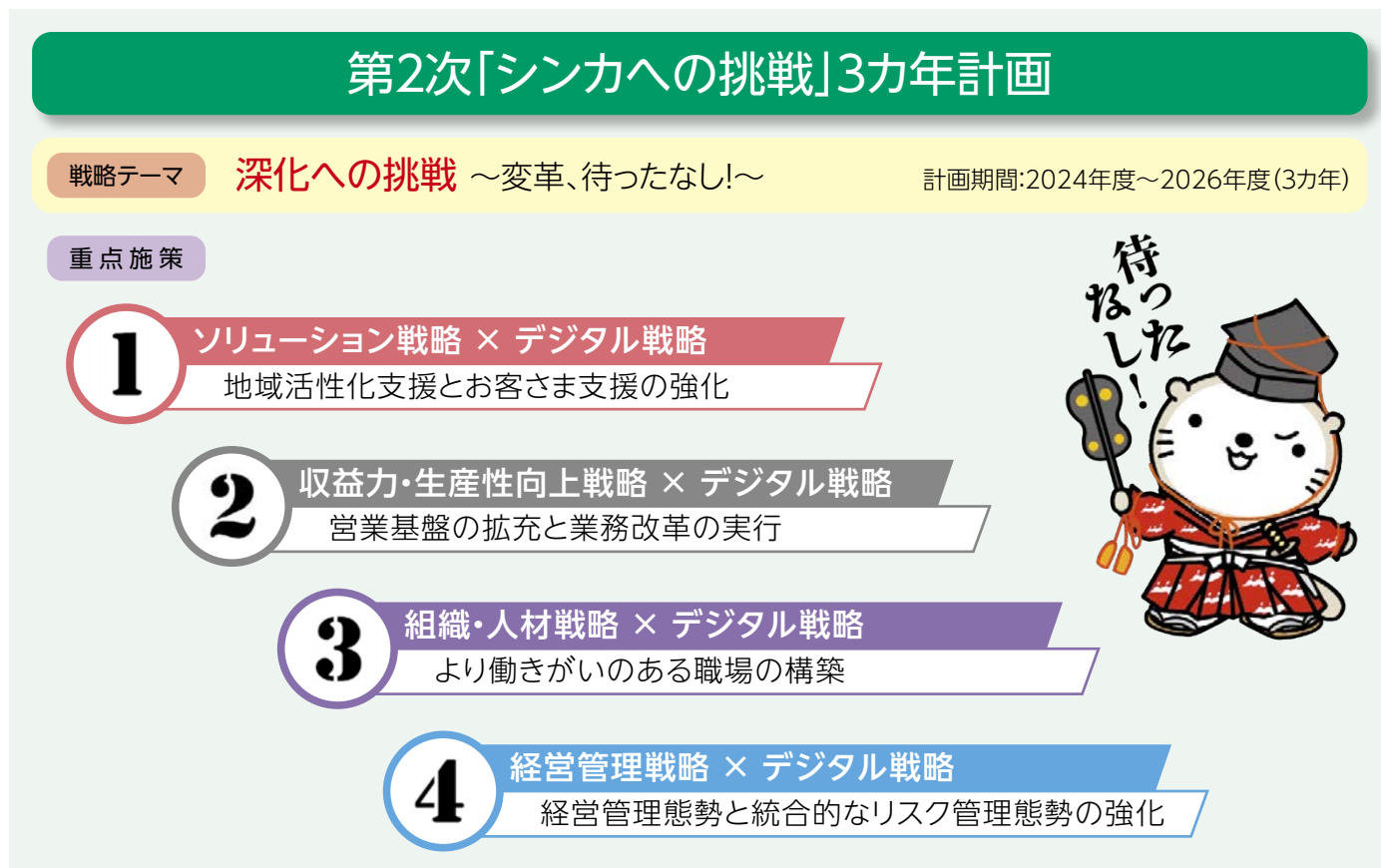
みらいしんきんのビジョンについて

当金庫では、「10カ年長期事業計画」を策定しており、その第2フェーズとして、2024年度より中期事業計画「第2次『シンカへの挑戦』3カ年計画」を推進しています。この中期事業計画では、人口減少や少子高齢化社会の進展、DXの加速など、急速に変化する経営環境に対応するため、金庫の制度や仕組みの変革（スクラップ&ビルド）に取り組むとともに、第1フェーズで「進化・新化」にチャレンジした取り組みについて組織に浸透（深化）させることを目指しています。

基本方針



基本戦略と重点施策

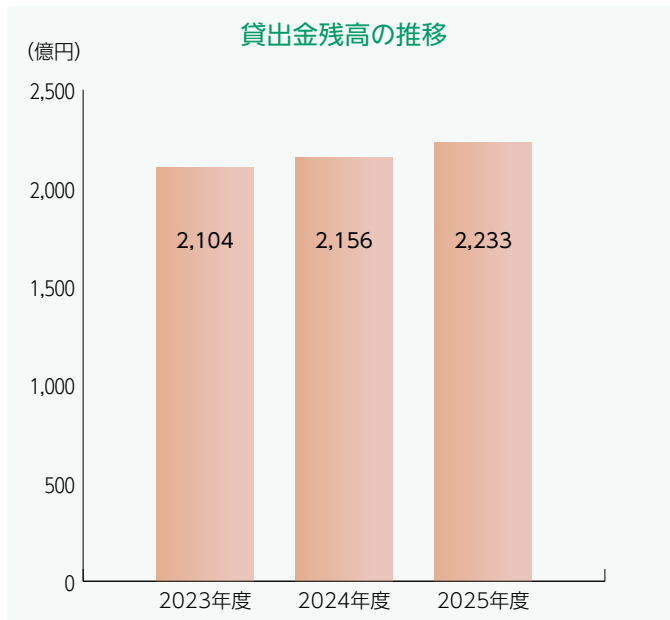


経営基盤の充実について

預金・積金、貸出金の状況

2026年3月末の預金・積金残高は4,397億3千7百万円となり、前期末比11億7千万円増加、増減率は0.26%でした。科目別では定期性預金が増加し、要求性預金が減少しました。また、人格別では個人と法人が増加し、地方公共団体が減少しました。

2026年3月末の貸出金残高は2,233億9千4百万円となり、前期末比77億4千9百万円増加、増減率は3.59%でした。科目別では証書貸付、当座貸越が増加し、割引手形、手形貸付が減少しました。また、属性別では個人、事業先、地方公共団体ともに増加しました。

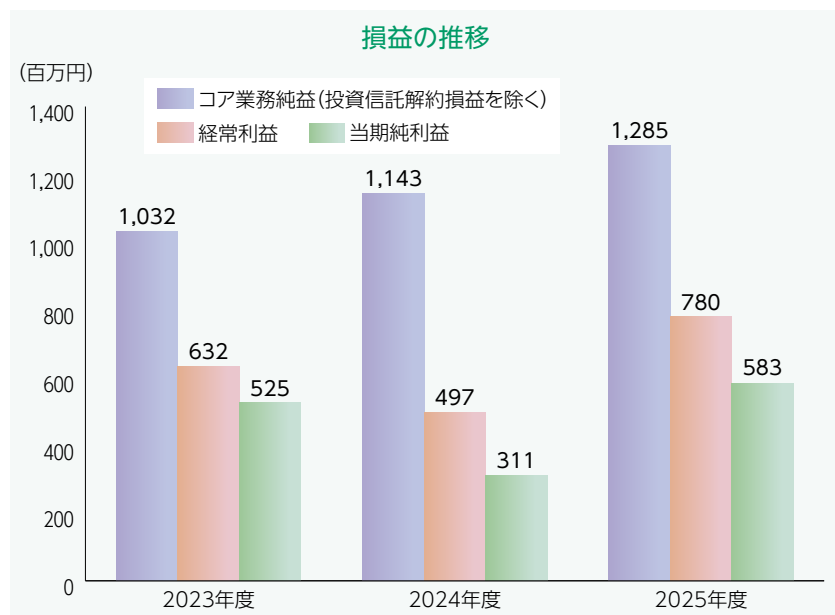


損益の状況

2025年度のコア業務純益(投資信託解約損益除く)は12億8千5百万円となり、前年度比1億4千1百万円増加しました。

経常利益は7億8千万円となり、前年度比2億8千2百万円増加しました。

当期純利益は5億8千3百万円となり、前年度比2億7千1百万円増加しました。これは貸出金利息や余資運用利息等の増加により業務収益が増加したことが主な要因です。



用語説明

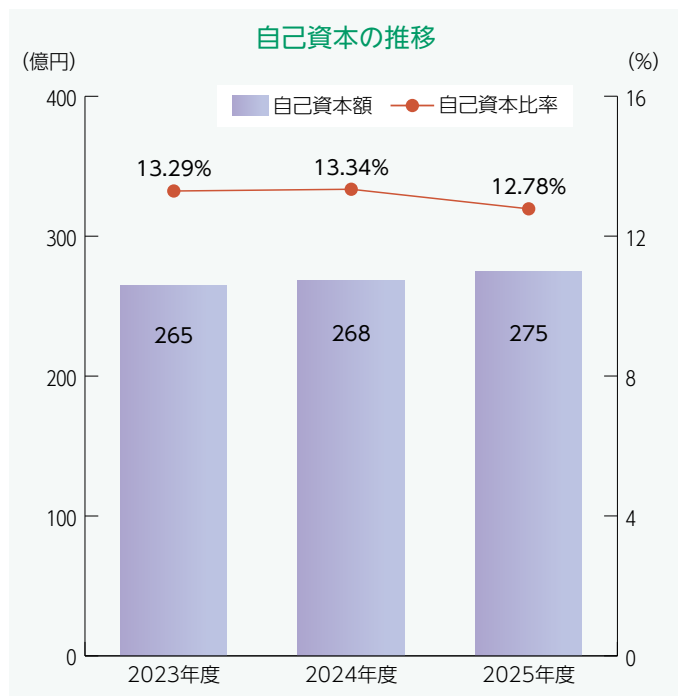
● **コア業務純益(投資信託解約損益を除く)**
金融機関の基本的業務で得た収益から費用と国債等債券売却・償還損益や投資信託解約損益を除いた利益です。

● **経常利益**
基本的業務とその他の業務で得た収益から費用を差し引いた利益です。

● **当期純利益**
経常利益に特別利益・特別損失を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

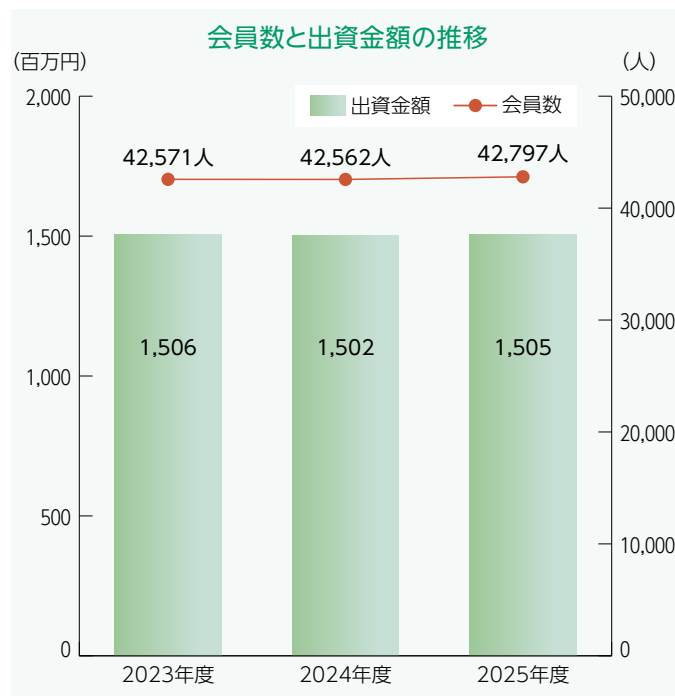
自己資本の状況

自己資本額は、275億3千5百万円となり、自己資本比率は12.78%となりました。なお、引き続き自己資本比率は国内基準4%の3倍以上の水準にあり、安定した健全性を確保しています。



会員数と出資金額の状況

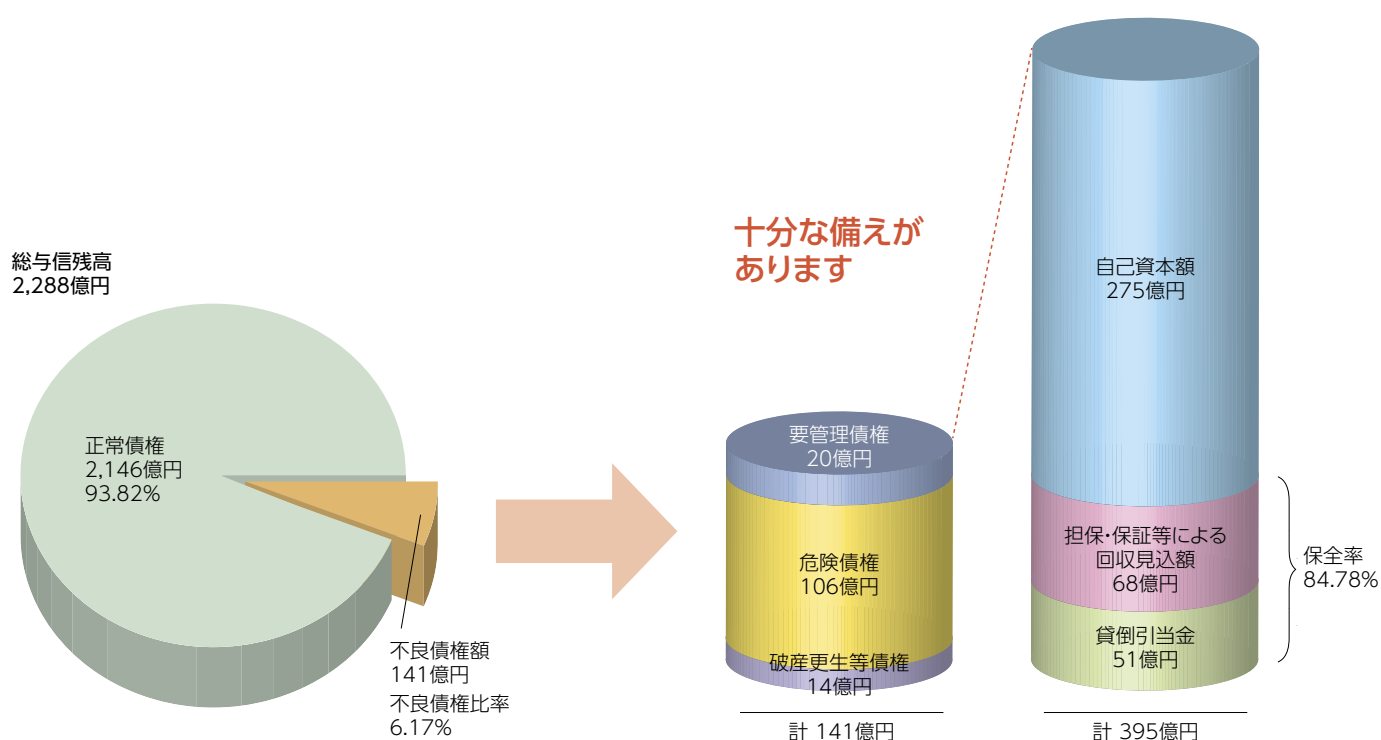
2026年3月末の出資金額は15億5百万円で前期末比3百万円増加しました。また、会員数は42,797人となり、前期末比235人増加しました。



信用金庫法・金融再生法上の不良債権とその保全および自己資本の状況

2026年3月末の不良債権の合計金額は141億3千3百万円となり、前期末比1億2千3百万円増加しました。また、不良債権比率は、6.17%となり、前期末比0.15ポイント低下しました。

なお、不良債権への対応として、担保・保証等や貸倒引当金によって保全を図っており、その84.78%をカバーしています。また、自己資本額は275億3千5百万円であり、リスクに対して十分な備えを行っています。



地域密着型金融の推進について

当金庫は、地域密着型金融の担い手として、地方創生、地域経済の活性化、中小企業金融の円滑化に向けた取り組みを積極的に推進しています。

1.お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

●経営支援体制(2025年度)

当金庫は、融資部と地域創生企画部と営業店が連携し、お取引先の売上向上、創業、事業承継、業務効率化など、さまざまな経営課題の解決をサポートしています。



●経営改善支援への取組状況と実績

お取引先(個人事業主を含む)の中から35先を対象に経営改善支援に取り組みました。

※詳細については、資料編34ページの「経営改善支援等の取組実績」をご参照ください。

具体的な取組状況は、以下のとおりです。

●経営会議への参加…………… 35先(延べ288回)

(以下については、経営改善支援先35先以外のお取引先を含みます)

●経営改善計画策定支援…………… 27先

●外部支援機関と連携した専門家派遣事業…………… 520先(延べ849回)

●外部機関との連携

お取引先が抱える経営課題の解決に向け、外部の専門家をお取引先へ派遣しております。専門家の派遣には、担当者が同席させていただき、現場での支援に協力するほか、専門家のノウハウを参考にすることで、支援機関としての能力向上に努めています。

●資金供給機能の発揮

お取引先の個人、中小企業・小規模事業者の皆さまの定量的な情報のみならず、定性的な情報の収集に努め、過度に不動産担保や個人保証に依存しない小口融資を推進し、地域の皆さまの資金需要にお応えしています。



〈経営改善支援 取組事例〉

中小企業・小規模事業者の経営支援に関する取組方針

当金庫は資金供給者としての役割にとどまらず、長期的な取引関係を通じて蓄積された情報や地域の外部専門家、外部機関等とのネットワークを利用してコンサルティング機能を発揮することにより、お取引先の経営支援や事業再生、事業拡大について最大限支援していく方針です。

経営改善、事業再生、業種転換などの支援に関する取り組み

●経営改善計画策定支援および伴走支援

金融支援を伴う本格的な経営改善が必要なお取引先を対象に国が認定した認定経営革新等支援機関が計画策定を支援する事業(通称405事業)について、一般社団法人分県中小企業診断士協会と連携し、計画策定支援や伴走支援に取り組みました。2025年度の実績として、405事業の利用申請を6件(うち2件が診断士協会連携)受け付けました。また、2024年度の申請先を含め4先の改善計画が完成し、伴走支援に移行しています。さらに、2026年度の利用申請に向けた準備、調査先を1先支援中です。加えて、新たに405事業の導入を検討しているお取引先については、各営業店が支援制度の説明や診断士協会との打合わせを進めています。

●そうだ!みらいに相談しよう!

当金庫では、お取引先の課題解決シートとして、「そうだ!みらいに相談しよう!」を活用しております。人材不足や販路拡大などのさまざまな課題に対して、多数のメニューを取り揃えておりますので、お気軽にご相談ください。2025年度は、720先のご相談にお応えしました。

●みらいビジネスマッチングサービス

当金庫では、県内お取引先のみならず、全国の信用金庫とのつながりを活かしたビジネスマッチングサービスを提供しております。

2025年度は、646件の商談、444件の成約につながりました。また、県内ならびに県外で開催される商談会への出展をご案内し、お取引先の幅広い要望にお応えしました。

●未来へ繋ぐ、みらいで繋ぐ

少子高齢化、人口減少、市場の変化に伴い、多くのお取引先企業が後継者問題を抱えています。当金庫では、そのようなお取引先企業の事業承継に関する個別課題および地域への影響力を把握し、問題解決への支援に努めています。

2025年度の事業承継M&Aにかかる情報収集は314件で、その内9件が成約となりました。

●そうだ!みらいと創業しよう!

当金庫では、「チャレンジする起業家を応援します」という方針のもと、創業を目指す方々へご支援を行っております。資金のご支援はもちろんのこと、事業計画の策定からマーケティングまで、創業前後のさまざまな不安を解決するメニューを取り揃えております。

2025年度は、254件のご相談にお応えしました。



●経営情報セミナー

2025年12月2日(火)にJ:COMホルトホール大分にて大分県信用金庫協会と大分県中小企業家同友会の共催で「経営情報セミナー」を開催しました。当日はオンライン参加を含め、総勢115名の方々が参加されました。

本セミナーでは、「事業承継」と「人材活用」をテーマに、M&Aの基礎知識や承継事例の紹介、人材活用における大分県や中小企業家同友会会員企業の取り組みについて講演いただきました。参加者からは、「非常に参考になった」という声が多数ありました。



▲セミナーの様子

●ONE OITA

2025年7月より7カ月間にわたり大分県主催「ONE OITA 経営バディ育成プログラム」が開催されました。

本プログラムはデータを活用した経営支援を推進する支援者育成事業であり、今回、大分県別府市に本社を置く旭環境管理株式会社さまのご協力のもと、同社が運営している「地獄蒸し工房鉄輪」の課題把握から解決策の提案まで支援させていただきました。



▲イベントの様子

●新商品開発による販路拡大支援

有限会社鶴亀フーズさまは、大分県産の海苔やくろめ商品を販売しています。同社は付加価値をつけた商品を開発して利益率を改善したいと考えており、当金庫を通じてINPIT大分県知財総合支援窓口を紹介しました。

新商品を開発するにあたり、ターゲットやコンセプトの設定、商品化に至るまでのブランディングについて、専門家の派遣も活用し、連携しながらテストマーケティングを実施しました。その間、特許や商標等知財に関する支援も行い、ブランド名「きりえ海苔」の商標出願から登録までサポートしました。2025年に出席した商談会では数社とのビジネスマッチングが成立し、販路拡大につながりました。



▲(有)鶴亀フーズ幸野社長(左)と大在支店職員

●セキュリティ強化による資産の付加価値向上

日本文理大学指定の食事付き学生アパートを運営するアバンセ中央さまは、4棟115名の学生が安心して生活・学業に専念できる環境づくりを進めています。

近年高まるセキュリティ需要に対応するため、当金庫の専門家派遣サービスを活用し、セキュリティ会社による診断と提案を実施。その結果、12カ所への防犯カメラ設置とホームセキュリティシステム導入を行い、安全性が大幅に向上しました。導入後は入居者から「守られている安心感がある。」と好評価を得ており、入居判断の後押しやアパート全体の付加価値向上につながっています。



▲アバンセ中央のオーナー塩地さま(左)と大在支店職員

2.地域の面的再生への積極的な参画

●みらいしんきん同友会

みらいしんきん同友会は、1976年11月に発足したお取引先の経営者の皆さまと当金庫を結ぶネットワーク組織です。

現在24支部、約1,500名が、各種講演会や勉強会、社員研修や若手経営者のマネジメントスクール等の自己啓発や親睦活動を展開しています。

同友会機関誌「DO YOU!」▶



▲同友会運営委員会

●未来経営者スクール

「未来経営者スクール」は、参加者が互いに経営者として研鑽を積み、異業種交流を行うことで自企業の発展に資することを目的としています。

1998年度よりスタートした本スクールは、これまで25期生が卒業し、延べ601名の皆さまにご参加いただきました。卒業生同士のネットワークもでき、次期経営者として職場でのマネジメント等に活用しているという声もいただいています。



▲未来経営者スクール

●みらいビジネススクール

みらいしんきん同友会活動の一環として開催している「みらいビジネススクール」は、会員企業の人材育成や新入社員教育のお手伝いを行っています。

これまでに「管理者研修」「新入社員研修」等各種研修会を開催し、延べ991社3,528名の皆さまに受講していただきました。

今後も地域の中小企業の皆さまのお役に立てるような研修を行っていきます。



▲みらいビジネススクール

3.地域やお客さまに対する積極的な情報発信

●地域活性化に繋がる情報の発信

地域やお取引先の景況動向等の把握を目的とした「中小企業景気動向調査」や時事的な話題を調査する各種特別調査を行っております。調査結果を冊子や当金庫ホームページに掲載し、企業経営の新たな課題や解決のヒントを得る機会を提供しています。



●就活生向けにYouTubeで動画配信

当金庫の業務内容や職場の雰囲気などをより身近に感じていただくため、YouTubeでの動画配信を行っています。渉外係・窓口係・本部業務について、各担当職員が仕事内容ややりがいをわかりやすく紹介しており、実際の業務イメージを深めていただける動画として、学生からも大変好評でした。

このほかにも、インターンシップの実施や職員と意見交換ができる座談会も開催し、当金庫への理解を深めていただきました。



▲YouTube動画(窓口編)

働き方改革への取り組みについて

働きがいのある働きやすい環境づくり

当金庫では、職員とその家族の皆さんが幸せであり続けることを目標に、一人ひとりが充実した人生を送れるよう、地域で一番働きがいのある職場、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

自律的なキャリア形成支援	資格滞留年数の撤廃、飛昇給制度	すべての資格滞留年数を撤廃し、年齢や経験年数に関係なく、能力を発揮する職員を評価する制度です。
	コース転換制度	総合職、専門職、特定総合職、一般職のコースを転換できる制度です。
	ジョブトライアル制度	専門職コースにチャレンジするためのトライアル制度です。短期間の体験コースとして「庫内インターン」、1～2年程度の実務経験を行う「キャリアチャレンジ」を導入しています。
働き方改革の推進	時間外勤務の削減	ノー残業デー（毎週水曜日）やパソコンの利用時間の制限等を実施し、時間外勤務の削減に取り組んでいます。
	有給休暇取得率の向上	長期連続休暇やリフレッシュ休暇制度、エネルギーチャージ半日午後休暇を導入し、有給休暇の積極的な取得に取り組んでいます。
多様な働き方の推進	男性の育児休業取得推進	育児休業中の5営業日を有給化し、男性も取得しやすい環境づくりに取り組んでいます。
	育児短時間勤務制度	小学校3年生修了時まで利用できる制度です。
	正職員転換制度	パート職員から正職員へ転換できる制度です。
	カムバック制度	金庫を退職した職員を、一定条件のもと正職員として再雇用する制度です。
職場のコミュニケーション向上	各種部活動	スポーツ系、文化系の15部が活動しており、業務外でのコミュニケーションに取り組んでいます。 (野球部、テニス部、剣道部、卓球部、ソフトボール部、マラソン・ウォーク部、フットボール部、バスケットボール部、ミニバレーボール部、バドミントン部、撮っくりクラブ、軽音楽部、みらいHula部、みらい美活研究部、Out door部)
	サンクスカードの導入	職員同士で「ありがとう」「いいね」を伝え合うことで、お互いに認め合う風土の醸成に取り組んでいます。

認定・受賞歴	くるみん認定 (2019年度、2024年度) おおいた女性活躍推進事業者表彰 (2019年度) 「おおいた働き方改革」推進優良企業表彰 (2020年度) 大分県健康経営事業所認定 (2024年度～) 女性活躍応援県おおいた認証企業 (おおいたキャリアール) (2024年度)
--------	---

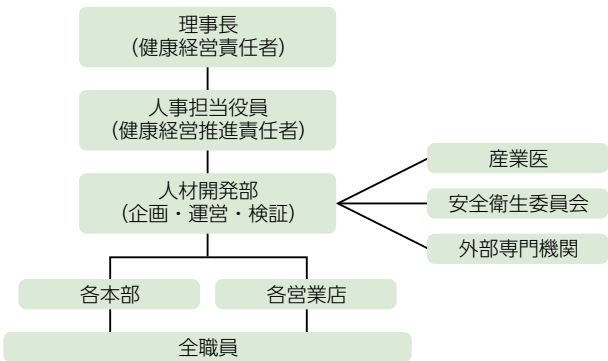
●健康経営宣言

大分みらい信用金庫は、「地域の皆さまから笑顔をいただける信用金庫」を目指しています。それを実現するためには、役職員一人ひとりが心身ともに健康であることが何よりも大切だと考えます。

大分みらい信用金庫では健康経営の取組みを通して、役職員の健康づくりを推進し、これからも地域の“みらい”に貢献し続けることを宣言いたします。

2022年8月2日
大分みらい信用金庫

【健康経営推進体制】



人材育成

当金庫では、「Heart to Heart～あなたがいちばんに相談したい金融機関～」をビジョンに掲げ、お客さまから真っ先にご相談いただける「真の相談相手」を目指しています。そのために、お客さまへの支援能力の向上および専門人材の育成を図っています。

研修・派遣	新入職員研修	社会人としての基本や業務スキル等を習得し、基礎力を身につける研修です。1年間にわたり、定期的に行っています。
	BS制度	新入職員に対して先輩職員が行う教育研修です。
	各種研修制度	階層別研修や業務研修等の多彩な研修を通じて、スキルアップや能力開発等を行う人材育成制度です。
	トレーニー制度	専門的な知識習得等のために、本部各部署でのOJTを通じた研修制度です。
	外部研修への派遣	公募により、一般社団法人全国信用金庫協会等が主催する外部研修へ派遣する制度です。
	外部機関への出向	公募により、信金中央金庫等の外部機関へ出向・派遣する制度です。
自己啓発支援	通信講座	業務に必要な知識や専門知識等の習得を支援する学習ツールです。
	e-ラーニング	実務に直結するものから知識習得に役立つものまで、さまざまなコンテンツを通じて自己啓発を支援する学習ツールです。
	みらい大学	休日を活用して、自主的に行う自己啓発講座です。
	公的資格等取得奨励制度	FP等の公的資格を取得した場合に奨励金を支給する制度です。



▲新入職員研修



▲別府街巡りツアーの様子

国家資格等資格保有者数(のべ人数)

• FP1級	8名	• 中小企業診断士	6名	• 産業カウンセラー	2名
• FP2級	129名	• 宅地建物取引士	18名	• キャリアコンサルタント	2名
• M&Aシニアエキスパート	8名	• 事業再生士補	2名		
• 事業承継・M&Aエキスパート	35名	• 行政書士	1名		
• 事業承継シニアエキスパート	3名				

(2026年3月31日現在)

総代会について

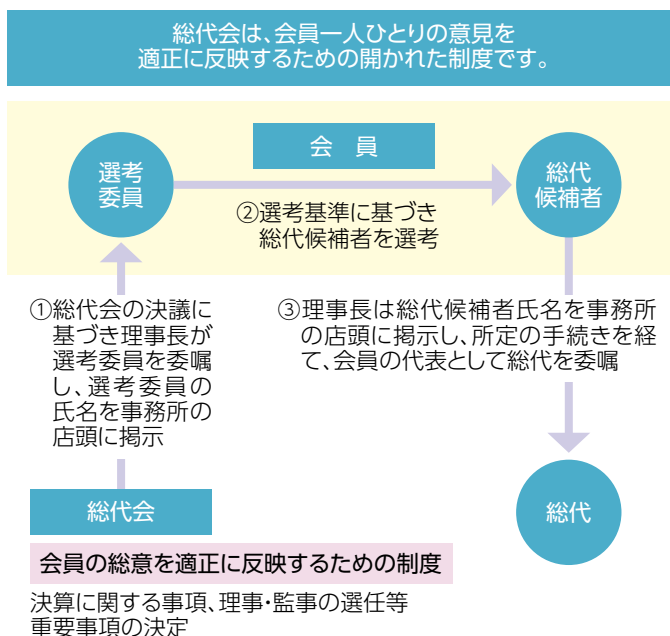
総代会制度の仕組み

信用金庫は会員同士の相互扶助の精神に支えられた協同組織の金融機関です。銀行などの株式会社は、本来、株主が資本を投下して利益を得るためにつくられた営利機関であるため、株主になるのは配当などの利益を得ることが目的です。これに対し、協同組織の信用金庫は会員の便益を目的としており、必要最低限な適正利益は確保しなければなりません、基本的には営利を目的としない金融機関です。

その運営は最高決議機関である「会員の総会または総代会」の意思決定に基づいて行われ、議決権は1人1票制をとっているため、会員の地位の平等性が尊重されています。

当金庫は4万人を超える多数の会員に支えられているため、総会にかえて、会員の中から選ばれた総代の皆さまで構成される総代会を最高意思決定機関としています。また、総代以外の会員の皆さまのご意見も、役職員によるヒアリングなどを通じて経営に反映しています。

なお、総代会では、決算による剰余金処分案の決定、定款に関する事項、理事・監事の選任等の重要事項を決議しています。



総代の選考方法

●総代定数と任期

定款により、総代の定数は130人以上170人以内、任期は3年となっており、その就任時点で満80歳を超えない会員としています。また、地区を8区の選任区域に分け、会員数に応じて選任区域ごとに定めています。

●総代の選考は次によります。

- ①総代会の議決により選任区域ごとに会員のうちから委嘱された選考委員が、その選任区域の総代定数に相当する総代候補者を選考し、その氏名を理事長に報告します。
- ②理事長は、総代候補者の氏名をその選任区域の会員に通知し、その通知した日から2週間以内に異議の申し出がなかった場合や異議の申し出をした会員が当該選任区域の会員数の3分の1に達しない場合は、会員からの信任を得たものとし、その総代候補者を総代に委嘱します。

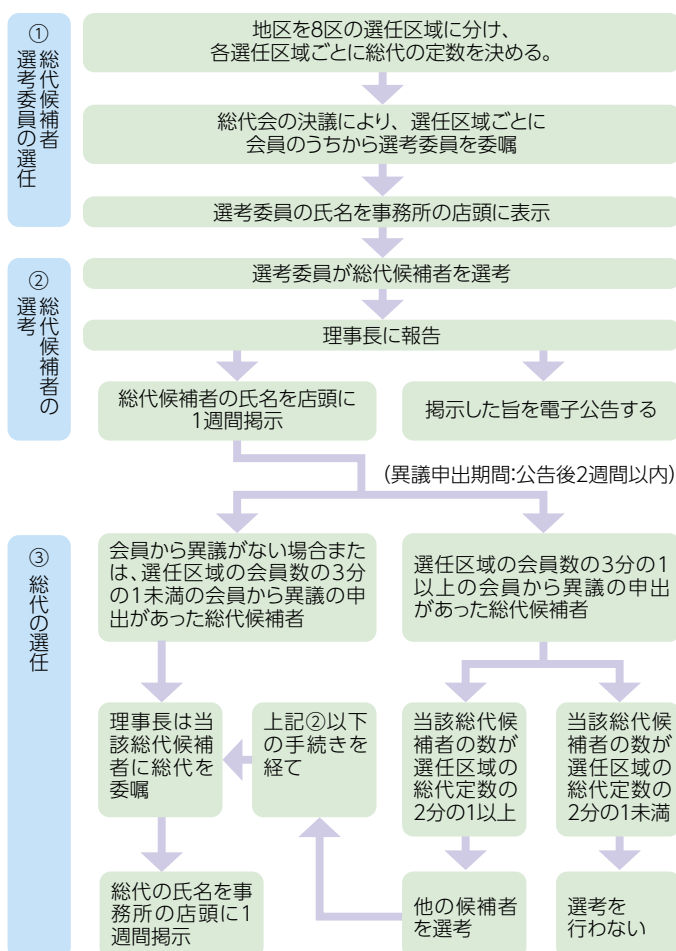
総代候補者の選考基準

- ①資格要件は当金庫の会員であること。
- ②適格要件は次のとおりです。

地域において信望が厚く、行動力があり、
総代として相応しい方

総代として相応しい人格・識見に秀れ
当金庫の発展に寄与できる方

金庫の理念・使命をよく理解し、
金庫との緊密な取引関係を有する方



第105期通常総代会決議事項

2026年6月29日、別府ビーコンプラザ「国際会議室」(別府市山の手町12番1号)において、第105期通常総代会を開催し、次のとおり報告ならびに決議されました。

- 報告事項 第105期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
- 決議事項 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 信用金庫法第17条第3項に係る法定脱退の件
- 第3号議案 所在不明会員除名の件
- 第4号議案 理事の任期満了に伴う選任の件
- 第5号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

以上、いずれも原案どおり可決されました。

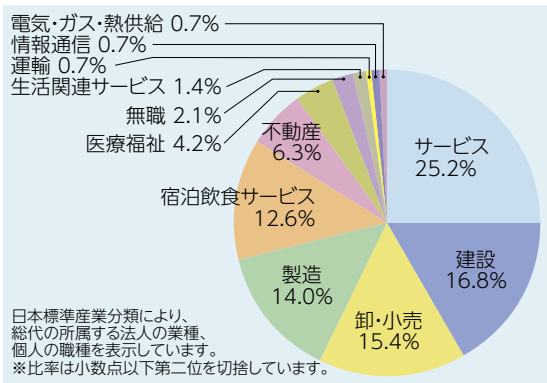


▲総代会の様子(2026年6月29日)

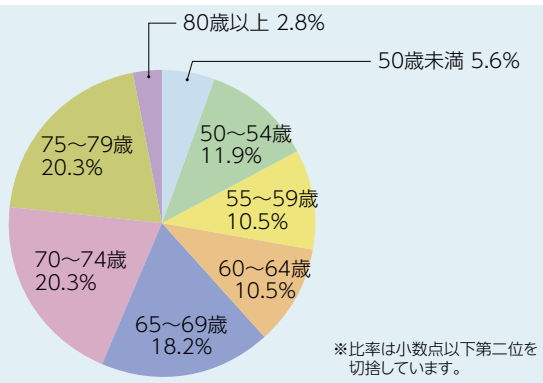
総代の属性別構成比

2026年5月末現在

●業種別構成比



●年齢別構成比



●職業別構成比

法人役員	93.0%
個人事業者	4.9%
個人	2.1%

総代のご紹介

総代(任期 2025年4月15日から2028年4月14日まで) ※敬称は略させていただきます。

店舗	氏 名	店舗	氏 名	店舗	氏 名	店舗	氏 名	店舗	氏 名
南	江藤 淳 ①	石垣	岩崎 秀明 ①	湯布院	赤司 哲 ②	中央府内中央・市場出張所	加藤 公利 ⑩	中津中央	児島 靖正 ②
	川島 賢一 ④		衛藤富喜雄 ⑧		岩男裕二郎 ⑨		黄 梅雄 ④		中 秀正 ⑦
	國實 大治 ①		大倉 一泰 ④		太田 正美 ⑨		新名 一大 ②		中山 泰志 ②
	神 日出男 ⑩		梶原 泰雄 ①		桑野 和泉 ⑩		橋本 康弘 ④		二反田新一 ③
	後藤 明文 ⑦		木村 裕次 ⑦		中谷 太郎 ④		宮本 隆之 ⑦		広畑 正光 ③
	佐藤 秀男 ⑥		蔵前 達郎 ②		日野 信介 ②		宗政 智 ①		三好 順一 ⑥
	高橋 正明 ④		首藤 誠 ②	南大分	安部幸一路 ②	東大分	安東 直樹 ①		若山 広利 ⑧
山の手	友永 亨 ④	鉄輪	鈴木美智代 ①		井上 隆次 ④		大石 章広 ③	大幡	大江康治郎 ⑥
	安東 信幸 ②		中野 信一 ②		碓氷 正治 ①		亀井 友和 ①		大倉莊三郎 ⑧
	大野 能且 ③		中村 有志 ②		森 正行 ⑥		成良 宏典 ⑤		梶原 健 ②
	小野平八郎 ④		岩瀬 智昭 ③	向原	矢野 雅則 ⑪		平尾 隆一 ⑦		川原田和廣 ②
	小保 勝廣 ⑥		上月敬一郎 ⑤		梶原 政信 ②	高城	八坂 秀史 ④		狩生 孝治 ⑧
	白井 功星 ②		河野 純一 ④		千壽 智明 ③		川野 大成 ②	鶴居	栞野 剛喜 ④
本店	安部 一郎 ⑦		長野 勝行 ③		佐藤 成己 ⑥		木戸 利夫 ④		恒廣 倫光 ①
	伊藤 博太 ②	亀川	安東 信男 ⑦		中嶋 恵美 ②		工藤 浩史 ②		坪根 誠 ④
	河内 聖藏 ⑦		櫻井 博之 ⑥	滝尾	川崎 徳則 ④		小手川秀則 ③		古園 智大 ②
	川本 尚哉 ⑦		高石 政光 ①		佐藤 孝 ⑥	大在	實山香代子 ②		増矢 大介 ③
	小出 英治 ⑧		高橋 護 ⑤		白井 俊男 ②		山内 清 ④	如水	大山 龍秀 ⑧
	首藤哲二郎 ④	上人	阿部 修司 ②		安東 正二 ④		小野 秀幸 ⑫		加来美恵子 ①
	菅 健一 ⑦		神田 純也 ①	大分	太田 匡彦 ①		田中 弘史 ⑤		末松 竹信 ⑧
	田村 英昭 ①		中島 正一 ⑤		大塚 茂 ②	鶴崎森町	幸野 剛士 ①		山崎 弘彦 ⑧
	寺田 真美 ④	鶴見・扇山出張所	安部 賢一 ⑨		大野 保洋 ②		倉員 誠二 ⑩	高田	原田 英一 ⑤
	林 太郎 ②		神徳 宗紀 ①		小澤 達也 ⑥		鈴木 健一 ④		高橋 宜宏 ⑧
	三浦 公英 ⑤		田中 俊一 ⑤		児玉 憲明 ⑤		中島 秀一 ②		谷川 実 ②
	三浦 孝一 ①		西 謙二 ⑨		指原 清之 ⑦	坂ノ市	小野眞一郎 ②		原田 敬史 ③
	山口 巧 ⑦		日高 清志 ③		佐藤 俊孝 ④		姫野總一郎 ⑦	宇佐中央	藤林 鋭司 ④
	石坂 太郎 ④	日出	星野 賢一 ①		東本 夏子 ②				三木 幸雄 ⑧
荘園	今橋 一男 ④		上野 公則 ③		長野 壽之 ⑥				
	岩田 啓則 ②		河野 房雄 ③		丸田 修 ③				
	小城 崇宣 ②		鈴木 智久 ①		吉田 茂 ①				

※氏名の後の数字は就任回数です。なお、1992年旧別府信用金庫と旧府内信用金庫合併後の就任回数で表示しています。
(2026年5月末現在)以上143名

(2026年6月末現在)

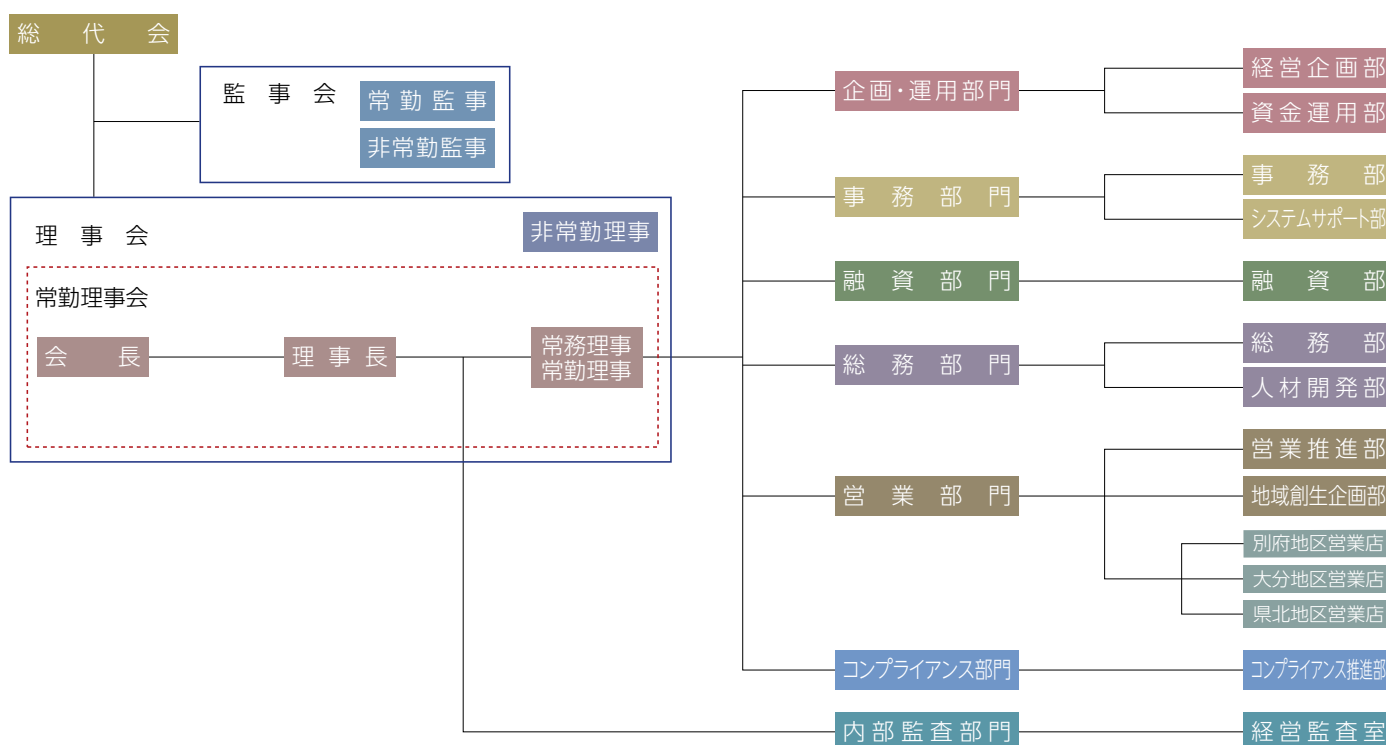
常勤役員	 代表理事 会 長 森田 展弘	 代表理事 理 事 長 古田 哲一	 常務理事 阿南 善則	 常勤理事 手島 賢三
 常勤理事 吉松 利行	 常勤理事 高橋 和彦	 常勤理事 伊藤 達矢	 常勤理事 姫野 央行	 常勤監事 久保 孝徳
非常勤役員	理 事 山本 眞郎	理 事 高橋 欽哉※¹	理 事 植山 茂宏※¹	理 事 波多野郁子※¹
理 事 徳田 宣子※¹	監 事 岩尾 利弘	監 事 阿南 典久	員外監事 中尾 薫※²	

※1：理事 高橋欽哉 植山茂宏 波多野郁子 徳田宣子は信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合せ」に基づく職員外理事です。

※2: 監事 中尾薫は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図

(2026年6月末現在)



会計監査人の氏名又は名称 (2026年6月末現在)

貞閑公認会計士共同事務所 公認会計士 川野 嘉久 氏、公認会計士 染矢 堯志 氏

営業店等所属長

2026年6月末現在

					
執行役員 別府地区統括 本店営業部長 兼南支店長 兼山の支店長 阿南 亀義	鉄輪支店長 阿佐 修介	亀川支店長 三澤 薫	湯布院支店長 首藤 俊祐	大分地区統括 大分支店長 兼府内中央支店長 細川 浩一	上人支店長 河崎 悦子
					
南大分支店長 鹿子木 敏明	荘園支店長 牧 成秀	石垣支店長 帆足 杏一	鶴見支店長 堀井 壮太	東大分支店長 永井 雅充	日出支店長 久保 宏樹
					
高城支店長 友永 賢二	大在支店長 兼坂ノ市支店長 小野 琢司	向原支店長 梅本 洋	滝尾支店長 土師 勇気	鶴崎森町支店長 武宮 真一	県北地区統括 中津中央支店長 石川 睦
					
鶴居支店長 兼大幡支店長 松岡 辰彦	宇佐中央支店長 兼高田支店長 藤野 泰宏	如水支店長 仲 真吾			
					
扇山出張所長 荒金 保夫	中央市場出張所長 沖本 由美	みらいハートプラザ別府 プラザ長 荒金 摩弥	みらいハートプラザ大分 プラザ長 得松 由香		

業界の総合力の発揮

信用金庫は、業界ネットワークを最大限に活用して、お客さまに対してきめ細かく魅力あるサービスを提供しています。これからも業界の総合力を結集し、お客さまにより一層ご満足いただけるサービスを提供できるよう取り組んでまいります。



業界関係での当金庫会長の担当職

(2026年7月末現在)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| • (一社)全国信用金庫協会 理事 | • 信金中央金庫 理事 |
| • (一社)南九州信用金庫協会 会長 | • 南九州地区しんきん経営者協議会 会長 |
| • 南九州信栄懇話会 会長 | • 南九州地区信用金庫同友会 幹事 |
| • (株)九州しんきんカード 取締役社長 | • 九州しんきんリース(株) 取締役会長 |
| • (株)九州しんきん情報サービス 取締役会長 | • 全国信栄懇話会 副会長 |
| • (一社)しんきん保証基金 理事 | • (株)しんきん情報システムセンター 取締役 |
| • (一社)しんきん共同センター 理事 | • 大分県信用金庫協会 会長 |

信用金庫業界関係機関の紹介

(株)しんきん情報システムセンター

信用金庫業界の機械化を推進するための中枢機関。信用金庫業界のネットワークシステムの開発・運用、他業態システム等と接続したネットワークシステムの整備および信用金庫業務に係る各種業務処理システムの開発・運用を行っています。

しんきん共同センター

信用金庫に高度なシステムを廉価で提供したり、事務や経営の効率を図ることを目的とする機関。加盟信用金庫の意見等を取りまとめ、システム開発およびシステムサポートを行っています。現在、全国の信用金庫の約9割が加盟しています。

(株)九州しんきん情報サービス

信用金庫を株主とする情報関連会社。収納代行業務や各種決済サービスなどの金融関連業務をはじめ、信用金庫のバックオフィス業務の受託等を行っています。

しんきん証券(株)

信用金庫等の資金運用ニーズや、信用金庫取引先の資金調達ニーズ等に資することを目的とする会社。有価証券の売買業務、仲介業務、引受業務等の証券業務を行っています。

信金インターナショナル(株)

信用金庫等の資金運用ニーズに資するためにロンドンに設立された会社。ユーロ市場における債券の売買業務、仲介業務、引受業務等の証券業務を行っています。

しんきん地域創生ネットワーク(株)

地域の課題解決に特化した専門会社。全国版の地域商社事業、地方自治体向け地域創生コンサルティング事業を行っています。

信金シンガポール(株)

信用金庫取引先の海外展開を支援すること等を目的とする会社。信用金庫取引先の海外子会社向けの貸出、海外進出や販路開拓など信用金庫取引先の海外ビジネスに関する支援等を行っています。

しんきん保証基金

個人の消費・住宅資金等の借入を容易にすることを目的とする保証機関。個人ローン・カードローン等の保証業務を行っています。

しんきんアセットマネジメント投信(株)

信用金庫等の資金運用ニーズや信用金庫における投資信託の窓口販売業務に資することを目的とする会社。投資顧問業務や投資信託業務を行っています。

信金ギャランティ(株)

信用金庫の個人向け無担保ローン拡大の支援等に資することを目的とする会社。信用金庫が取り扱う個人向け無担保ローンの保証業務を行っています。

信金キャピタル(株)

中小企業の育成に資すること等を目的とする会社。株式公開を目指す企業が発行する株式等の引受けを行う投資業務およびM&A仲介業務を行っています。

全国信用金庫厚生年金基金

厚生年金保険法に基づき設立された基金。信用金庫役職員の退職後の生活安定に資するわが国最大規模の私的年金基金です。

全国信用金庫連合企業年金基金

確定給付企業年金法に基づき設立された基金。税制適格退職年金制度の廃止に伴い、その移行先の受け皿として設立された連合型の企業年金基金です。

信金中央金庫について

●信金中央金庫の役割

信金中央金庫は全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関で、信用金庫の中央金融機関として1950年に設立され、2000年には優先出資を東京証券取引所に上場しています。

また、「信用金庫業界の中央金融機関としての役割」「個別金融機関としての役割」を併せ持つ金融機関として、会員信用金庫と一体となって業務を行っています。

●信金中央金庫の経営力強化制度

信用金庫業界では、個々の信用金庫の健全性を確保し、業界全体の信用力の維持・向上を図るため、2001年4月に「信用金庫経営力強化制度」を創設しました。



信用金庫のセントラルバンク 信金中金

- 総資産……………46兆円
 - 連結自己資本比率(国内基準)……………21.95%
 - 不良債権比率(リスク管理債権/貸出金)……………0.17%
 - 外部格付 Moody's……………A1
 - S&P……………A
 - R&I……………A+
 - JCR……………AA
- (上記計数は2026年3月末現在)

まち 地域づくり活動について

地域のお祭りに参加!!

別府八湯温泉まつり「ふれあい踊り」、「湯・ぶっかけまつり」、中津祇園「市民総踊り」、べっぶ火の海まつり「納涼音頭大会」、第41回「府内戦紙」にのべ266名の職員が参加して地域を盛り上げました。

「府内戦紙」では、「練り部門優秀賞」を受賞することができました!次は目指せ!一等賞!



▲べっぶ火の海まつり「納涼音頭大会」



▲第41回「府内戦紙」

みらいSDGsウィーク

2025年10月14日～17日をみらいSDGsウィークとして、「第4回みらいしんきんフードドライブ」を実施しました。当金庫全32店舗(みらいハートプラザ含)に回収ボックスを設置したところ、総重量151.1kg、539点もの食品が集まりました。集まった食品は大分県社会福祉協議会フードバンクを通じて、当金庫営業エリア6市1町(別府市、大分市、中津市、宇佐市、豊後高田市、由布市、日出町)の受入可能な子ども食堂に寄贈しました。また、フードドライブで集まった食品に加えて、大分県社会福祉協議会『愛のたすけあい』善意銀行を通じて、当金庫営業エリア6市1町の子どもの食堂へ100万円の現金寄附をいたしました。



▲贈呈式の様子

子ども支援事業

地域のスポーツ振興と子どもたちの健やかな成長を願い、主催・協賛・後援などさまざまな形で各種スポーツ大会や将棋大会等子どもたちの挑戦を応援しています。



▲みらいしんきん杯わくわくドリーム将棋大会



▲豊の国けまりフェスティバルサッカー大会

Out of KidZania in おおいた

2026年5月で3回目の開催となった「Out of KidZania in おおいた」へ2日間出展しました。現地では当イベントで働いた子どもたちがもらった給与明細をもとに、独自通貨「ジモット」への換金手続きを行う金融機関「大分みらい信用金庫アウトオブキッズニア支店」として営業しました。



▲Out of KidZania in おおいた

大分県域内観光パッケージプロジェクト

県下3信用金庫が協力して、信用金庫業界のお客さま旅行を大分県へ誘客するプロジェクトに取り組んでいます。

現在、プロジェクトの最終フェーズとして、大分県外の全国251信用金庫および関係団体へ、旅行パンフレット「大分うるわしの旅」を送付し、各信用金庫などが企画する団体旅行を大分県へ誘客しています。

2025年度は北海道および関西から2つの信用金庫がお客さま旅行で来県しました。



▲県外信用金庫 お客さま旅行

若手起業家育成支援事業EntrEX

(一社)別府市B-bizLinkが主催する「若手起業家育成支援事業EntrEX」にサポーター企業として参加しています。

同事業では事業計画の作成、資金調達、商品販売など、会社経営の一連の流れを1日で体験する「べっぴん子ども起業塾」、地元が誇る仕事を体験し、将来の選択肢を広げる「べっぴんお仕事体験」を実施しました。当金庫は、金融機関役として参加し、子供たちの将来の夢や自律性を育むお手伝いをさせていただきました。



▲イベントの様子

大分県立別府翔青高等学校との包括連携

大分県立別府翔青高等学校と当金庫は、両者が持つノウハウや情報を活用し、さまざまな分野で連携・協力関係を強化することで、地域の活性化を図るとともに、将来の地域を支える人材を育成し、地域社会の発展に寄与することを目的として包括連携協定を締結しました。

今後は、探究活動を通じた地方創生や地域イノベーションの創出、金融教育の推進など、幅広い分野で連携を進めていく予定です。また、2026年1月に3年生200名を対象に金融教育セミナーを実施しました。



▲包括連携協定書締結式の様子

金融経済教育セミナー

2025年12月2日に大分県信用金庫協会による地域の小学生を対象とした「金融経済セミナー」を開催しました。

金融経済教育推進機構(J-FLEC)の講師による出張授業を実施し、次世代を担う子どもたちの健全な金銭感覚育成に寄与する取り組みを行っています。

当日はお金の使い方やお金の貯め方、お金に関するトラブルについてクイズを交えた講演が行われ、児童や保護者から「勉強になった」という声をいただきました。



▲セミナーの様子

お客さま支援について

LINE公式アカウントでもっと便利に

当金庫では、スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE（ライン）」にて公式アカウントを開設しています。

ホームページのように便利にご利用いただけるメニューやお役立ち情報、クーポンの配信などを行っています。

クーポンについては、お取引先のご紹介も兼ねて定期的に配信しており好評いただいています。

是非「お友達登録」をしてご活用ください。



LINEご登録方法▶

「わたしの安心ノート」書き方講座・作成支援サービス

みらいハートプラザではお客さまの「終活」をご支援するため、当金庫独自の「わたしの安心ノート」書き方講座、作成支援サービスを実施しており、好評いただいています。

このサービスでは、「わたしの安心ノート」書き方講座の受講を通じて、ご自身の想いやご家族に残したいことを「もしも」の時に備えて整理できます。一人では難しい作業も、当金庫ハートプラザ担当者が一緒にサポートさせていただきます。

作成後も、関連するセミナー、相談会、イベントなどの情報をご提供し、お客さまの終活を継続的にご支援いたしますので、ご興味のある方は、みらいハートプラザへお気軽にご相談ください。

「わたしの安心ノート」書き方講座

所要時間 60分程度

日時 希望日時をご相談いただけます。

会場 みらいハートプラザ別府

みらいハートプラザ大分

当金庫本支店がお選びいただけます。

受講料 5,500円（税込み・受講料に「わたしの安心ノート」の代金が含まれます。）



▲わたしの安心ノート

大分県中小企業診断士協会とのビジネスマッチング契約

大分県中小企業診断士協会と当金庫は、2025年12月8日、お取引先が抱える経営課題の解決に向け、助言や診断業務を通じた本業支援を行うことを目的としてビジネスマッチング契約を締結しました。

お取引先が経営支援や事業計画の策定支援等を希望された場合、大分県中小企業診断士協会を通じて、中小企業診断士のご紹介を行っています。



▲ビジネスマッチング契約締結式の様子

大分県弁護士会との連携協定締結

大分県弁護士会と当金庫は、2025年11月25日、みらいハートプラザ大分にて「高齢者等の法律相談に係る包括連携協定」を締結しました。

本協定は、大分県弁護士会と当金庫がそれぞれの強みや専門性を活かし、相互に連携・協力することで、ご高齢の方や障がいをお持ちの方、そして地域の皆さまから寄せられる法律相談に関する支援を行い、課題解決のお手伝いを行うことを目的としています。



▲締結式の様子

みらいハートプラザセミナーの実施

2025年11月27日、みらいホールにて「みらいハートプラザセミナー」を開催しました。

本セミナーは、トレーニング科学の視点から認知症の研究をしている関西福祉科学大学教授で日本早期認知症学会理事長の重森健太先生を講師にお迎えし、認知症予防や健康増進をテーマに講演いただきました。認知症予防の秘訣として、腕や足を動かしながら脳トレを行うレクリエーションを会場内で行い、参加者の皆さまから大変好評をいただきました。

みらいハートプラザでは、終活や相続、シニア向け相談会、勉強会、セミナー等を実施しています。ご興味のある方は、みらいハートプラザへお気軽にご相談ください。



▲セミナーの様子

店舗・ATMネットワーク

営業店

2026年6月末現在

店番	店名	ATM稼働				取扱い業務		所在地	電話番号
		平日	土・日・祝	視覚障がい者対応	生体認証・IC対応	フラット35	外国為替取次		
2	本店営業部	●	●	●	生体	●	●	〒874-8639 別府市駅前本町1番31号	0977-25-7710
3	南支店※					●	●	〒874-0942 別府市千代町11番15号	0977-22-3311
5	鉄輪支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0045 別府市御幸2組	0977-66-1251
6	亀川支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0014 別府市亀川浜田町2番3号	0977-66-0161
7	山の手支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0902 別府市青山町1番1号	0977-22-0231
9	湯布院支店	●	●	●	生体	●	●	〒879-5102 由布市湯布院町川上3048番地の4	0977-84-2164
10	大分支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0021 大分市府内町1丁目2番8号	097-534-0131
26	府内中央支店	●	●	●	生体	●	●		
11	上人支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0033 別府市上人南16組	0977-66-2261
12	南大分支店	●	●	●	IC	●	●	〒870-0887 大分市二又町1丁目4番22号	097-544-1181
13	荘園支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0836 別府市東荘園3丁目4番40号	0977-24-7131
14	石垣支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0910 別府市石垣西7丁目1番1号	0977-25-0511
15	鶴見支店	●	●	●	IC	●	●	〒874-0848 別府市大畑町2番26号	0977-22-1131
19	扇山出張所	●	●	●	IC		●	〒874-0833 別府市鶴見三丁目8番43号	0977-22-1135
20	東大分支店	●	●	●	IC	●	●	〒870-0919 大分市新栄町1番3号	097-556-6311
22	日出支店	●	●	●	生体	●	●	〒879-1506 速見郡日出町3189番地1	0977-72-1511
27	高城支店	●	●	●	IC	●	●	〒870-0157 大分市高城本町3番3号	097-558-1644
29	大在支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0268 大分市政所1丁目1番11号	097-592-2171
42	向原支店	●	●	●	生体	●	●	〒879-5506 由布市挾間町挾間572番地1	097-583-1311
43	中央市場出張所	●		●	IC		●	〒870-0018 大分市豊海4丁目1番1号	097-533-3222
45	滝尾支店	●	●	●	IC	●	●	〒870-0945 大分市大字津守383番地の6	097-568-6111
46	鶴崎森町支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0127 大分市大字森町499番地の1	097-522-1181
50	中津中央支店	●	●	●	生体	●	●	〒871-0058 中津市豊田町2丁目453番地の1	0979-23-1111
54	大幡支店	●	●	●	生体	●	●	〒871-0151 中津市大字大幡法705番地の1	0979-32-4051
56	鶴居支店	●	●	●	生体	●	●	〒871-0025 中津市大字万田字寺屋敷409番地の1	0979-22-1431
57	宇佐中央支店	●	●	●	IC	●	●	〒879-0453 宇佐市大字上田字前畑1013番地の1	0978-32-2123
55	高田支店								
58	如水支店	●	●	●	生体	●	●	〒871-0011 中津市大字下池永字新貝918番地の1	0979-25-1818
62	坂ノ市支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0307 大分市坂ノ市中央4丁目2番3号	097-592-3511
	みらいハートプラザ別府							〒874-8639 別府市駅前本町1番31号	0120-365-166
	みらいハートプラザ大分							〒870-0046 大分市荷揚町3番1号	0120-365-353

※南支店は店舗建替工事のため、本店営業部内にて営業中です。

※視覚障がい者対応ATMとは、ATMに設置されているプッシュボタン付きの受話器(ハンドセット)から、音声で操作手順をご案内するATMです。

※ATM稼働欄の「生体」は生体認証およびICカード対応、ICはICカード対応ATMが設置されている店舗です。ステッカーが貼付されているATMでご利用いただけます。

※ATMに設置している生体認証装置は、今後順次使用を停止します。停止後は生体情報を使用したお取引ができなくなります。

店外ATMコーナー

2026年6月末現在

別府市
● IC えきマチ1丁目
● IC ゆめタウン別府
● IC 浜脇出張所
● マルショク流川通り店 ※
● IC マルショクやまなみ店
● IC マルショク関の江店
● IC 亀川中央町
● 立命館アジア太平洋大学 ※
● 別府医療センター ※
● IC トキハイングストリー鶴見園店
● IC 春木出張所
● 別府大学 ※
● IC 別府市役所
● IC マルショク餅ヶ浜店
● IC 境川出張所

日出町
● リブホール川崎店 ※
大分市
● IC JR大分駅コンコース
● 大分県庁 ※
● 宗方共同出張所 ※
● トキハわさだタウン ※
● OBS前 ※
● IC 春日出張所
● IC 大分市役所
● IC せきしん出張所
由布市
● IC 花の木通り
● イオン挾間店 ※
宇佐市
● IC トキハイングストリー宇佐四日市店

中津市
● IC 中津市役所
● IC ゆめタウン中津
● イオン三光ショッピングセンター ※
● IC 川島整形外科病院
● IC 今津出張所
吉富町
● IC 吉富出張所
豊後高田市
● トキハイングストリー豊後高田店

● 土・日・祝日稼働 ● 平日のみ稼働

IC ICカード対応ATM

生体 生体認証およびICカード対応

※のコーナーは、個人出資会員の時間外手数料無料の対象外となります。また、当金庫カードによる平日時間外・土日祝日の入金、有料となりますのでご注意ください。

※のコーナーは、個人出資会員の時間外手数料無料の対象外となります。また、当金庫カードによる入金、有料となりますのでご注意ください。

ATM利用のご案内

●時間外手数料一覧

平 日	(消費税込み)	
	8:45	18:00
	110円	無 料
土 曜	9:00	14:00
	無 料	110円
日祝日	110円	

- 当金庫カード(通帳)でのお預入れはいつでも無料です。
- 他金融機関・ゆうちょ銀行カードは、平日8:00～21:00・土日祝日9:00～20:00の利用となり、「左記手数料+110円」となります。

※利用明細票に表示される手数料が、実際にご負担いただく手数料と異なる場合がございます。詳しくは、お取引金融機関にお問合せください。

- 当金庫出資会員はATM時間外手数料は無料です。
(法人キャッシュカードは対象外となります)

- ①ATMコーナーにより稼働時間が異なります。
- ②当金庫カードを他金融機関のATMコーナーでご利用の場合は、金融機関や時間帯によって手数料が異なります。
- ③お振込には振込手数料が必要です。



しんきんのキャッシュカードなら 全国のしんきんATMで入出金手数料が無料です

- 無料でご利用になれる時間帯
- 平日…8:45～18:00のお預入れ・お引出し
- 土曜…9:00～14:00のお引出し(注)

・本サービスをご利用いただけない信用金庫ATMが一部ございます
・上記以外の時間帯および日曜・祝日のATMご利用には所定の手数料が必要です
(注)土曜日のお引出しにつきましては、一部有料となる信用金庫ATMがございます

当金庫のキャッシュカードはセブン銀行・イオン銀行・ローソン銀行の各ATMでもご利用いただけます



ご利用できる時間

- 月曜～金曜 0:00～24:00
- 土曜 0:00～22:00
- 日曜 8:00～24:00

- 上記時間帯は最長利用可能時間帯です。ATMごとに営業時間が異なります。

●ご利用可能なお取引

キャッシュカードによる

お引出し・お預入れ・残高照会

※法人キャッシュカードはご利用できません。

※通帳のご利用はできません。

●お引出し・お預入れ手数料

一律110円(消費税込み)

※残高照会は手数料無料です。

※出資会員の皆さまも手数料が必要です。



イオン銀行ATM

ご利用できる時間および手数料

●平日	8:00	8:45	18:00	21:00
	220円	110円	220円	
●土曜	8:00	9:00	14:00	21:00
	220円	110円	220円	
●日曜・祝日	8:00			21:00
	220円			

(消費税込み)

※上記時間帯は最長利用可能時間帯です。ATMごとに営業時間が異なります。

※残高照会は手数料無料です。

※お振込みの際は、別途イオン銀行が定める振込手数料がかかります。

※カードローン・総合口座貸越の貸付額・返済額が1万円以下の場合、ご利用手数料は110円となります。利用明細票に表示される手数料と実際にご負担いただいた手数料が相違する場合がございますが、通帳には実際にご負担いただいた手数料が正しく表示されますのでご了承ください。

※出資会員の皆さまも手数料が必要です。

●ご利用可能なお取引

キャッシュカードによる

お引出し・お預入れ・お振込み・残高照会

※法人キャッシュカードはご利用できません。

※通帳のご利用はできません。



ローソン銀行ATM

ご利用できる時間

- 月曜～金曜 0:00～24:00
- 土曜 0:00～22:00
- 日曜 8:00～24:00

- 上記時間帯は最長利用可能時間帯です。ATMごとに営業時間が異なります。

●ご利用可能なお取引

キャッシュカードによる

お引出し・お預入れ・残高照会

※法人キャッシュカードもご利用いただけます。

※通帳のご利用はできません。

●お引出し・お預入れ手数料

一律110円(消費税込み)

※残高照会は手数料無料です。

※出資会員の皆さまも手数料が必要です。

みらいしんきんの歴史

1922年4月12日、私たちは、大分県で最初の「信用金庫」として産声をあげました。
以来104年、みらいしんきんの歴史は、常に地域と共に歩んでまいりました。
地域に対する想いは、未来永劫、変わることはありません。
これからも、いつまでも…。

みらいしんきんのあゆみ

1922(大正11)年 4月	有限責任別府信用組合設立	2016(28)年 2月	豊後高田市、由布市、日出町と「地方創生に関する包括連携協定」を締結
1926(15)年 9月	南支店(旧本店)開設	3月	学校法人別府大学と連携に関する協定を締結
1951(昭和26)年10月	有限責任別府信用組合から別府信用金庫へ改組	3月	別府竹製品協同組合と業務提携に関する覚書を締結
1964(39)年 2月	別府信用金庫新本店開設(旧本店は「南支店」に)	2017(29)年 7月	大分労働局と包括連携に関する協定を締結
1976(51)年11月	別信同友会発足	2018(30)年 4月	大分県事業引継ぎ支援センターと業務連携・協力に関する覚書を締結
1982(57)年12月	別府信用金庫、預金量1,000億円達成	12月	大分県と「大分県内におけるキャッシュレス決済の推進に関する協定」を締結
1992(平成 4)年 6月	別府、府内両金庫合併、新生「別府信用金庫」誕生	2019(令和 1)年 6月	「くるみん認定」を取得
1994(6)年 3月	第百みらい信金ビル竣工・みらいしんきん研修所「遊心齋」竣工	2020(2)年 3月	おおいた女性活躍推進事業者表彰を受賞
5月	金庫名を「別府信用金庫」から「大分みらい信用金庫」に改名	9月	「みらいしんきんSDGs宣言」を制定
1996(8)年10月	「第33回ヤングコアフェスタ in Beppu KYUSYU」開催	10月	「おおいた働き方改革」推進優良企業を受賞
1997(9)年 8月	「府内戦紙」初出場	2021(3)年11月	大分県と「地方創生に係る包括連携協定書」を締結
1998(10)年 6月	第1回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」受賞	2022(4)年 1月	公益財団法人産業雇用安定センターと当金庫との「中小企業支援に関する連携協定」を締結
2002(14)年 3月	中津信用金庫・佐賀関信用金庫の事業を譲り受け	4月	創立100周年
2004(16)年 3月	大分県警より「こども連絡所・連絡車」指定	9月	「しんきんイノベーションプロジェクト in 別府」の成果発表会を開催
2005(17)年 6月	国立大学法人大分大学と連携に関する協定を締結	2023(5)年 3月	新本店ビル グランドオープン
2007(19)年11月	創立80周年記念事業で「油屋熊ハブロンズ像」を寄贈(JR別府駅前広場に設置)	6月	創立101周年記念式典・祝賀会を杉乃井ホテルにて開催
2008(20)年 7月	事務センターを新築移転	2024(6)年 1月	独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)大分県知財総合支援窓口と包括的な連携協定を締結
2010(22)年 6月	新イメージキャラクター「みらっこ」誕生	12月	大分県下3信用金庫および地元企業と連携し、観光パンフレット「大分うるわしの旅」を発行
12月	大地みらい信用金庫との交流開始	2025(7)年12月	大分県立別府翔青高等学校と「地方創生にかかる包括連携協定」締結
2012(24)年 4月	創立90周年		
8月	「府内戦紙」一等賞受賞		
2013(25)年 3月	認知症サポーター全店配置		
10月	福岡ひびき信用金庫、西中国信用金庫の3信用金庫間で大規模災害発生時の相互応援に関する覚書を締結		
11月	日本政策金融公庫と創業支援に関する業務提携を締結		
2014(26)年 3月	大分県中小企業診断士協会と「経営改善センター事業」に関する業務提携を締結		
5月	大分県信用金庫協会、大分県内3信用金庫、商工組合中央金庫大分支店との間で業務協力に関する覚書を締結		
2015(27)年11月	大分県中小企業家同友会と業務提携に関する覚書を締結		
11月	別府市、宇佐市と「地方創生に関する包括連携協定」を締結		
12月	大分市と「地方創生に関する包括連携協定」を締結		
2016(28)年 1月	中津市と「地方創生に関する包括連携協定」を締結		





〒874-8639 大分県別府市駅前本町1番31号
TEL 0977-22-1181(代表)

インターネットホームページ URL
<https://www.oitamirai.co.jp/>

E-mailアドレス
mirai@oitamirai.co.jp

みらいしんきん

検索



「資料編」のご案内

信用金庫法第89条に基づいて作成した「資料編」は、当金庫ホームページにて公開しております。

